

事後評価シート

番号	事業名 箇所・地区名	市町村名	-	事業期間			事業費 (百万円)	対象理由 ※2	事後評価の結果 ※3	総合評価	担当課	特記事項																																																								
				着手	※1 再評価	完成																																																														
1	経営体育成 基盤整備事業 中今泉地区	宮崎市 清武町	用水路 A=128 ha 排水路 L=1,603 m 農道整備 L=3,260 m 暗渠排水 A= 1 ha	H12	-	H24	1,439	①	<p>【1 全体計画】</p> <p>受益面積： 128.0 ha (水田 109.0 ha、畑 19.0 ha、樹 0.0 ha)</p> <p>主要工事</p> <ul style="list-style-type: none"> 用水路 128.0 ha (水田 109.0 ha、畑 19.0 ha、樹 0.0 ha) 排水路 10.0 ha (水田 9.0 ha、畑 1.0 ha、樹 0.0 ha) 農道整備 16.0 ha (水田 13.0 ha、畑 3.0 ha、樹 0.0 ha) 暗渠排水 1.0 ha (水田 1.0 ha、畑 0.0 ha、樹 0.0 ha) <p>受益者数： 295 人</p> <p>【2 事業目的】</p> <p>昭和45年から平成2年迄に県営、団体営、県単事業により、ほ場整備された地区であるが、取水源の河川被害や土砂流入等による復旧に多大な労力を費やしている。河床の変動による排水路への逆流、流域界変更による断面不足問題、さらに農道が砂利道であるため農作物の荷傷みや、粉塵被害等が起きている。このため、国営かんがい排水事業大淀川右岸地区の末端関連事業計画として、パイプライン、農道整備、排水路改修、暗渠排水整備を行い、都市近郊であるという利点を活かした収益性の高い安定した営農形態を目指す。</p> <p>【3 事業効果の発現状況等】</p> <p>安定的な用水確保に資する用水路のパイプライン化により、ハウスが導入され、収益性の高いきゅうり、いちご、日向夏、なす、甘長しとう等の他、花卉ではかすみ草、露地野菜でも新たにスイートコーン、キャベツ、ニンジン、らっきょうが導入される等、品目の多様化による農地利用の多角化が図られている。</p> <p>また、地域の担い手への農地の集積が進む等、整備後の事業効果が確認できる。</p> <p>【営農体系の変化及び収益性(試算)】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>整備前</th> <th>現在 ※2</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">主 な 作 物</td> <td>水稲 ※1</td> <td>105.7 ha</td> <td>79.9 ha</td> <td>△ 25.8 ha</td> </tr> <tr> <td>野菜(きゅうり、いちご、ししとう等)</td> <td>0.0 ha</td> <td>9.8 ha</td> <td>9.8 ha</td> </tr> <tr> <td>うち水稲からの転換による施設野菜</td> <td>0.0 ha</td> <td>7.3 ha</td> <td>7.3 ha</td> </tr> <tr> <td>柑橘類(みかん、日向夏)</td> <td>0.0 ha</td> <td>4.6 ha</td> <td>4.6 ha</td> </tr> <tr> <td>花卉(かすみ草)</td> <td>0.0 ha</td> <td>1.0 ha</td> <td>1.0 ha</td> </tr> <tr> <td>露地野菜 ※3</td> <td>64.7 ha</td> <td>76.8 ha</td> <td>12.1 ha</td> </tr> <tr> <td>うち水稲からの転換による露地野菜等</td> <td>0.0 ha</td> <td>10.0 ha</td> <td>10.0 ha</td> </tr> <tr> <td colspan="2">作物生産額(試算) ※4</td> <td>244,212千円</td> <td>442,117千円</td> <td>197,905千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td></td> <td>81%増</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 水稲の減については、施設野菜、露地野菜及び飼料作物への転換によるものである。</p> <p>※2 「現在」の欄の面積には、調査時点で作付準備等により作付けされていない農地の面積は含まれていない。</p> <p>※3 主に大根、スイートコーン、キャベツ等の露地野菜や飼料作物。</p> <p>※4 作付け面積の増減に伴い、農林水産統計資料等を元に試算すると197,905千円(81%増)の生産額が増となる。</p> <p>【農地の変化】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>整備前</th> <th>現在</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農地集積面積</td> <td>17.6 ha</td> <td>29.2 ha</td> <td>11.5 ha</td> </tr> <tr> <td>農地集積率※</td> <td>13.8 %</td> <td>22.8 %</td> <td>9.0 %</td> </tr> </tbody> </table> <p>※農地集積率=農地集積面積/受益面積×100</p> <p>【4 事業による環境の変化や環境の保全】</p> <p>事業実施区域内に特に配慮すべき環境資源は確認されておらず、事業による環境の変化等も特にならない。</p> <p>【5 施設の維持管理状況】</p> <p>清武町土地改良区において適切に維持管理を行うとともに、沓掛地区農地・水・環境保全連合会、谷ノ口農村環境保全組合、清武町農地維持活動組合が多面的機能支払制度に取組み、多面的機能の維持・発揮のため、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【6 今後の課題等】</p> <p>更に当地域の生産規模拡大を図り、地域の担い手への農地集積・集約化を進め、担い手の育成支援を図っていく。</p>			整備前	現在 ※2	増減	主 な 作 物	水稲 ※1	105.7 ha	79.9 ha	△ 25.8 ha	野菜(きゅうり、いちご、ししとう等)	0.0 ha	9.8 ha	9.8 ha	うち水稲からの転換による施設野菜	0.0 ha	7.3 ha	7.3 ha	柑橘類(みかん、日向夏)	0.0 ha	4.6 ha	4.6 ha	花卉(かすみ草)	0.0 ha	1.0 ha	1.0 ha	露地野菜 ※3	64.7 ha	76.8 ha	12.1 ha	うち水稲からの転換による露地野菜等	0.0 ha	10.0 ha	10.0 ha	作物生産額(試算) ※4		244,212千円	442,117千円	197,905千円					81%増		整備前	現在	増減	農地集積面積	17.6 ha	29.2 ha	11.5 ha	農地集積率※	13.8 %	22.8 %	9.0 %	収益性の高い品目への転換や農地の集積などにより担い手の育成が図られ、事業効果の発現が認められる。	農村計画課	特になし
		整備前	現在 ※2	増減																																																																
主 な 作 物	水稲 ※1	105.7 ha	79.9 ha	△ 25.8 ha																																																																
	野菜(きゅうり、いちご、ししとう等)	0.0 ha	9.8 ha	9.8 ha																																																																
	うち水稲からの転換による施設野菜	0.0 ha	7.3 ha	7.3 ha																																																																
	柑橘類(みかん、日向夏)	0.0 ha	4.6 ha	4.6 ha																																																																
	花卉(かすみ草)	0.0 ha	1.0 ha	1.0 ha																																																																
	露地野菜 ※3	64.7 ha	76.8 ha	12.1 ha																																																																
	うち水稲からの転換による露地野菜等	0.0 ha	10.0 ha	10.0 ha																																																																
作物生産額(試算) ※4		244,212千円	442,117千円	197,905千円																																																																
				81%増																																																																
	整備前	現在	増減																																																																	
農地集積面積	17.6 ha	29.2 ha	11.5 ha																																																																	
農地集積率※	13.8 %	22.8 %	9.0 %																																																																	

※1 再評価の実施年度については、直近のものを記載すること。

※2 対象理由は、「①：全体事業費が基準額以上であり、かつ事業完了後一定期間が経過した事業」又は「②：再度、事後評価の必要があると判断した事業」の番号を記載する。

※3 事後評価の際には、出来る限り客観的な数値を記載すること。